

松本理容美容専門学校

自己評価報告書
(平成27年度)

学校法人長野県理容美容学園
松本理容美容専門学校

評価項目の達成及び取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の特色は何か	4
学校の将来構想を抱いているか	4

- ・本校は学校法人長野県理容美容学園として発足以来今日まで教育理念に基づいて学校教育を運営してきている。

「教育とは教える者教えられる者との関わりの中で、人を変える営みである」両者の関わりや、教育が人を変える事の環境であるか、人格・技術共に豊かに変貌できる全人的な教育であるかを常に問いかけ、それを目指しています。教える側の教職員も変わり得る資質を持ち、教えられる者と共に今よりも一歩前進を心掛け、素晴らしいセンスを創造的に先取りできる理容・美容師の養成を目指すこととしています。

- ・また、トータル美容として関連業界のニーズに合わせ、エステティシャンを目指す、ビューティビジネス科もキャリアに直結する実践的なカリキュラムで美をプロデュースできる人材を育成しています。
- ・環境整備、指導者の技術力向上に力を入れ、校舎内設備機器・施設、緑化整備等、また各種研修会、資格取得を行い抱負な技術力と人間性豊かな指導者が、業界等との産学連携で学生が即戦力となりうる技術を指導していきます。
- ・教育の方針を具現化し、笑顔・挨拶・感謝の気持ちを持ち「相手の気持ちに寄り添える」接客ができる学生を育てていく。一人ひとりの資質を伸ばし、安心と自信を持って学校生活を送れる環境をつくる。

基準2 学校運営

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
運営方針は定められているか	4
事業計画は定められているか	4
運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4
人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4
意思決定システムは確立されているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

- ・学校の運営方針は明確に定められており、各種規定も状況に応じて検討を行っている
- ・事業計画にあたっては、学生、業界のニーズに基づき、取り組むべき施策や解決すべき課題を明確にして作成している。事業の進捗状況は常任理事会、理事会にて報告されている。
- ・理事会・評議員会は当法人の規定により明確に位置づけられ、定期的に会議を開催して、事業計画に従って業務を遂行し有機的に連携し機能している。
- ・就業規則は整備されているが、今後の学生数の増減に伴う採用計画や配置など定期的に見直す必要がある。
- ・学生成績管理のシステム一元化は平成16年より開始、学生情報の合理化も出来つつある。今後は危機管理の一つとして、一斉メールの整備を進めていく。

基準3 教育活動

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3
修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4
カリキュラムは体系的に編成されているか	4
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3
キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格取得の指導体制はあるか	4

- ・教育目標を教職員全員が理解し、意識統一がされている。まずは国家免許資格取得が大前提であり、指導・支援体制を確立させ、一人ひとりの学生の理解度・習熟度を認の上個々のレベルに合わせた指導体制をとり、将来の目標をしっかり持たせその実現に向けて主体的に臨める支援を行っている。
- ・現在の業界の多岐にかつ多様に渡っている技術レベルに合わせ、各技術の基本を勘案しカリキュラム編成を行っている。知識・技術の修得と人間性も総合的な人材レベルに合わせた目標が明確に定められている。
- ・必修選択科目の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」即、戦力となりうる技術の強化などの充実を図る。

- ・カリキュラムは資格取得を柱とし、毎年カリキュラムの一部を改変し、より充実した内容へと努めている。通常の授業に加えてより幅の広い「一般教養」「社会人基礎力」並びに「より高度な専門技術と資格を取得する」の目的で課外授業である「専攻科」を選択できる。学科の各科目は、カリキュラムの中で適正に位置づけていると考えている。各科目の詳細な授業内容については、理解度を高める為と成績評価に不平等差が出ないよう学生の学力や属性によって平均的なクラス分けを実施している。
- キャリア教育は1.2年で各5日ずつ実務実習としてサロンでのインターンシップを実施している。実行性はサロンからの評価で検証されるが、各サロンの評価基準差で正確な分析はできない。しかし、この機会が学生達にとっては次につなげる要素となっていることと思われる。
- ・常勤教員・非常勤教員ともに専門性を発揮し、授業レベルの更なる向上を目指し、工夫を凝らした手厚い指導体制を整備している。

基準4 学修成果

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3

- ・就職先の対象がほとんど美容関連業界に限定されるため、学生、就職指導担当者ともに把握し易く、就職率の向上も図り易い。「即戦力として社会に通用する人材の育成」を目標として本校の教育システム＝就職内定というラインが確立されている。
- ・本校の教育方針は、「資格取得」を大きな柱としており、国家試験では毎回高い合格率を出している。他の各種資格の合格率からも一定の成果と評価を得ている。今後はさらなる資格取得率の向上を目指し、新たな対策で改善を図っていく。
- ・クラス担任制の導入・学年別行事・個人面談などを実施し、学習意欲の維持、向上及び早い段階のメンタルケアにより、今年度は例年になく、退学者数が減った。
- ・卒業生の動向については、来校しての情報提供、元担任からの報告、業界誌掲載の情報、業界競技会の結果などから、多くの社会的活躍が果たされている。

基準5 学生支援

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
就職に関する体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3

- ・就職部を設置しており、クラス担任との連携で各々の就職活動支援を行っている。
自己の将来目標を明確にさせ、それに準じたサロン選びから詳細に渡り相談、サポートし、就職後の離職回避に繋げている。
- ・進路・経済的理由・学業・友人関係など様々であるが、まず信頼関係がある担任が相談にのること、場合によってはスクールカウンセラーの力を借りて連携で解決に導いている。
- ・各種奨学金制度に関する概要説明書類を整備して、個々の事情に応じて、個別対応している。
- ・1学年を対象に毎年1回の定期検診を実施しており、異常が確認された場合は個別対応している。また近隣の個人医院と連携して、日頃から学生の健康管理に日頃から気配りをしている。
- ・本校は遠隔地出身者のために学生寮が整備され、地元のアパート業者との情報から無理のない家賃で希望者全員を受け入れる環境が整っている。
- ・保護者との連携は大変重要であると認識している。欠席の多い学生は多々問題を抱えている事が多いため、電話連絡、来校、三者面談等により学生の現状提供、疎通を計り学生のサポートを行っている。
- ・卒業生の再就職支援についてフォローアップする体制は整っている。

基準6 教育環境

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学外学習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	3

- ・学校の施設・整備はすべてが十分とは言えないが、設置基準は充分満たしている。学校環境を良くすることの中には、施設設備だけでなく、敷地内に多くの緑地化を進め、自然環境も含めより学生が落ち着いた学校生活がおくれる配慮をしている。
- ・学外実習、実務実習及び来校実習などは、学生の参加意欲も高く、学習の動機付けとしての効果も高い。カリキュラムの中の授業時間など勘案し、機会を広げていきたい。実務実習では業界からは高い評価を得ており、学生の事後アンケートから実績、教育効果を確認している。
- ・防災については、年間1～2回防災訓練実施、学校の防災対策組織ができており、防災設備の定期点検、下校後の担当者による点検、また学内の事故に備えて、学生災害傷害保険に加入している。

基準7 学生の募集と受け入れ

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

- ・学生募集には専属の担当者を置き、募集広報は誇大な表現を避け事実を正確に伝え、真実性、明瞭性、公平性に基づき、募集を行っている。
- ・オープンキャンパス、学校見学を随時行い、保護者向けの説明会も開催している。
- ・卒業生の活躍は在校生にとって現実性があり、具体的目標にもなっている。卒業生が来校したとき活躍する現状報告、技術展示など在校生との関わり情報収集の機会となっている。
- ・入学考査は適正・公平に行われており、入試合格者はほぼ100%である。
- ・学納金は妥当なものになっており入学辞退者への返還なども適正に処理をしている。

基準8 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

- ・財務経理は税理士事務所から指導を受けて改善に努めており、当学園並びに本校の財務状況は安定しているといえる。

- ・予算、収支決算書は会計事務所に委託し、財務基盤を示す経営データがある。計画に基づき妥当に執行されるように確認し行われ、適切な予算配分を行っている。
- ・私立学校法会計基準に基づき、年2回当法人監事が監査を行い理事会、評議員会に報告をしている。
- ・財務情報公開の体制は整っており、寄附行為の規定に基づき閲覧ができる状況である。

基準9 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	2
自己点検・自己評価結果を公開しているか	1

- ・法令並びに専修学校設置基準が遵守され、適正な運営がなされている。理事会、評議員会、そのほか各委員会等を適宜開催し、学校運営の充実を図っている。
- ・個人情報保護に関する規定に基づき運営がされている。学校が保有する個人情報は目的以外に一切使用していない。
- ・自己点検に限られた職員だけが理解しており、各職員は日常の教務からの問題点は職員会や学年会等で把握しているものの、全職員が学校全体の把握や問題提起、改善策等検討していかなければならない。
- ・自己評価委員会、学校関係者委員会を設立。専門課程の職業実践専門課程の認定取得を目指す。早急に自己評価結果を公表できる体制をとりたい。

基準10 社会貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3

- ・CO2等の環境問題、高齢化などの社会問題は本校の教育課程のうえで必要不可欠なものであり、まず美化・清掃といった身近な問題から薬物問題まで、生活習慣・倫理観などは絶えず啓蒙活動を行っている。
- ・年1回本校において献血、在校生の約4分の1程度の協力者がいる。高齢化社会における高齢者の特徴を学習したうえで、社会福祉施設で高齢者対象の美容ボランティアを年3回実施、利用駅から校舎近隣までの清掃を実施している。